

# 令和7年度事業報告書

自 令和7年4月 1 日  
至 令和8年3月31日

一般財団法人 新技術振興渡辺記念会

# 一般財団法人 新技術振興渡辺記念会

## 令和7年度 事業報告書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

### I. 概況

令和7年度事業については、事業計画に則り公益目的事業と収益目的事業（賃貸事業）を実施した。公益目的事業については、科学技術に関する調査研究とその助成、国際交流に対する援助、新技術の振興に業績を挙げた者に対する表彰並びにこれらの普及・啓発に関する各事業を実施した。

財団の主たる事業である助成事業等については、科学技術に関する調査研究（自主事業）課題、科学技術に関する調査研究の助成課題、科学技術に関する国際交流への援助課題並びに新技術の振興に業績を挙げた者に対する表彰及び科学技術振興のための普及・啓発事業を実施した。また、財団広報誌の発行、ホームページ等により財団業務の広報に努めた。

なお、これらの事業推進の一助として賃貸事業を行った。

### II. 事業内容

#### 1. 科学技術に関する調査研究の実施（自主事業）

- 1) 富士山積雪中マイクロ・ナノプラスチックから探る、地球規模汚染と気候変動への新たな視点
- 2) 我が国の未来を切り拓く高度人材についての調査研究 ～海外の動向や我が国の過去30年の施策の評価を踏まえて～

以上の調査研究費の総額を17,365千円とした。（課題内容は別表—1参照）

#### 2. 科学技術に関する調査研究の助成

調査研究助成は、令和7年度上期10課題（応募総数15課題）、下期11課題（応募総数14課題）に対し総額45,040千円の助成を決定した。（助成課題は別表—2参照）

#### 3. 科学技術に関する国際交流への援助

##### 1) 海外国際研究集会等への参加の援助

①2025年ガラス・光材料部門会議（Glass & Optical Materials Division Meeting (GOMD 2025)）（本会議 第16回環太平洋セラミクスとガラス技術会議 同時開催）

②第23回固体センサ・アクチュエータ及びマイクロシステム国際会議

（The 23rd International Conference on Solid-State Sensors, Actuators and Microsystems (Transducers 2025)）

③第23回固体センサ・アクチュエータ及びマイクロシステム国際会議（Transducers 2025）

（注：②と異なる研究者への援助）

④欧州微生物学連合年会2025（The FEMS MICRO Milan 2025: Congress & Exhibition）

⑤2025年米国畜産学会-カナダ畜産学会 年次会議（2025 ASAS-CSAS Annual Meeting）

⑥第20回植物生体膜生物学の国際ワークショップ

（20th International Workshop on Plant Membrane Biology）

⑦第20回植物生体膜生物学の国際ワークショップ（注：⑥と異なる研究者への援助）

⑧第21回液晶光科学国際会議（21st Optics of Liquid Crystals Conference (OLC 2025)）

⑨国際ソフトマター会議2025（9th International Soft Matter Conference (ISMC 2025)）

⑩第12回海産外来種に関する国際会議（The 12th International Conference on Marine Bioinvasions (ICMB XII)）

①第 19 回国際リハビリテーション医学会学術集会 (The 19th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM) World Congress)

②環太平洋国際化学会議 2025 (The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2025 (Pacifichem 2025))

なお、「第 5 回先端応用のための固体電解質に関する世界会議：ガーネット及びその先へ」の援助を決定したが、ビザ発給が遅れ研究者が渡航できず未実施となった。

## 2) 国際研究集会等の開催の援助

①第 12 回アジアシクロデキストリン国際会議 (12th Asian Cyclodextrin Conference)

②日独先端工学プログラム (Japan-Germany Frontiers of Engineering Program) (JAGFOE)

③第一回エレクトライドとフローティング電子系の材料科学国際シンポジウム

(1st International Symposium on Materials Science of Electride and Floating Electron System)

## 3) 外国の研究者・技術者の招へいの援助

①第 1 回量子コンピューターとセンサーを指向した分子スピン量子ビットに関する国際会議

(1st International Conference on Molecular Spin Qubits Toward Quantum Computer and Sensors (ICMSQ2025))

②代謝コードと細胞恒常性に関する国際ワークショップ(Osaka Mito2025 Summer

International Workshop on Metabolite Code and Cell Homeostasis-)

③日本薬学会第 146 年会 (大阪)

(146th Annual Meeting of the Pharmaceutical Society of Japan(Osaka))

以上の科学技術に関する国際交流に対し、7, 083千円の援助を行った。

(援助の態様等は別表—3 参照)

## 4. 科学技術振興のための普及・啓発の推進

科学技術映像祭を共催する等、科学技術推進・協賛事業及び研究奨励金等、総額 12, 396千円の支出を行った。

(行事の内容等は別表—4 参照)

## 5. 収益(賃貸)事業

財団が所有している浜松町 NH ビル (地上 8 階、地下 1 階) 及び同ビル別館 (地上 5 階) の賃貸事業を行った。

浜松町 NH ビル (賃貸 5 テナント・8 フロア)

浜松町 NH ビル別館 (賃貸 5 テナント・5 フロア)

## 6. その他

(1) 広報誌「新技術振興渡辺記念会だより」第 15 号を令和 7 年 7 月に、第 16 号を令和 8 年 1 月に発行した。

(2) 財団のホームページを、新規トピックスの掲載等により継続的に更新した。

## III. 評議員会の開催

### (1) 第 18 回評議員会

開催日時 令和 7 年 6 月 27 日 (金) 15:00~16:30

開催場所 TKP 浜松町カンファレンス 3B (港区浜松町 1-26-1 味覚糖 UHA 館)

議決事項 1) 令和 6 年度決算報告書 (案) の承認について

2) 次期役員を選任について

#### IV. 理事会の開催

##### (1) 第52回理事会

開催日時 令和7年6月9日(月) 13:00~15:00

開催場所 財団会議室 ハイブリッド会議

- 議決事項
- 1) 令和6年度事業報告書(案)の承認について
  - 2) 令和6年度決算報告書(案)の承認について
  - 3) 令和6年度公益目的支出計画実施報告書(案)の承認について
  - 4) 次期役員候補者(案)について
  - 5) 第18回評議員会の招集の決定について

##### (2) 第53回理事会(臨時)

開催日時 令和7年6月27日(金) 16:40~16:55

開催場所 当財団会議室 ハイブリッド会議

- 議決事項
- 1) 理事長及び専務理事の選定について
  - 2) 常勤理事の選定について
  - 3) 事務局長の承認について
  - 4) 顧問の選任について

##### (3) 第54回理事会(臨時)

開催日時 令和7年9月30日(火) 15:00~16:45

開催場所 当財団会議室 ハイブリッド会議

- 議決事項
- 1) 令和7年度科学技術調査研究助成課題(下期)の採択及び助成金額の決定について

##### (4) 第55回理事会

開催日時 令和8年3月24日(火) 13:30~15:30

開催場所 当財団会議室 ハイブリッド会議

- 議決事項
- 1) 令和8年度事業計画書(案)について
  - 2) 令和8年度予算書(案)について
  - 3) 令和8年度科学技術調査研究助成課題(上期)の採択及び助成金額の決定について

#### V. 科学技術振興課題審査委員会の開催

##### (1) 第29回科学技術振興課題審査委員会

開催日時 令和7年9月9日(火) 14:55~17:15

開催場所 当財団会議室 ハイブリッド会議

- 議事事項 令和7年度科学技術調査研究助成課題(下期)の選考について

##### (2) 第30回科学技術振興課題審査委員会

開催日時 令和8年3月6日(金) 13:00~15:00

開催場所 当財団会議室 ハイブリッド会議

- 議事事項 令和8年度科学技術調査研究助成課題(上期)の選考について

## VI. 資産運用委員会の開催

### (1) 第18回資産運用委員会

開催日時 令和7年8月27日(水) 15:00~17:00

開催場所 当財団会議室

- 議事事項 1) 令和6年度決算について  
令和6年度決算報告概要、決算報告書  
令和6年度公益目的支出計画実施報告書  
2) 資産の運用状況について

### (2) 第19回資産運用委員会

開催日時 令和8年2月25日(水) 15:00~17:00

開催場所 当財団会議室

- 議事事項 1) 運用概況  
2) 財団のポートフォリオの在り方について  
3) 今後の日本株の見通しについて

## VII. 科学技術調査研究助成課題の成果報告会

### (1) 令和5年度下期他採択課題成果報告会

開催日時 令和7年4月25日(金) 14:00~17:05

開催場所 法曹会館(千代田区霞が関1-1-1)

報告課題数 11課題

出席者 助成課題申請者・その関係者、当財団役員、評議員及び課題審査委員等

### (2) 令和6年度上期採択課題成果報告会

開催日時 令和7年10月22日(水) 14:00~16:35

開催場所 法曹会館(千代田区霞が関1-1-1)

報告課題数 8課題

出席者 助成課題申請者・その関係者、当財団役員、評議員及び課題審査委員等

## VIII. 「科学技術映像祭」の共催

科学技術を正確にわかりやすく伝える優れた映像を選奨することにより、科学技術への関心を喚起するとともに、その普及と向上をはかり、社会一般の科学技術教養の向上に資することを目的とする「科学技術映像祭」を、(公財)日本科学技術振興財団、(公社)映像文化製作者連盟、(公財)つくば科学万博記念財団及び当財団で引き続き主催した。主催4団体を中心とする科学技術映像祭運営委員会において基本の方針を決定している。

第66回科学技術映像祭では、これまでの「自然・暮らし」、「研究・技術開発」及び「教育・教養」の3部門に代わり「一般部門」及び「学生部門」を設け、募集する作品の制作期間を年度単位とし次年度当初に作品を募集することとし、4月1日から5月15日に募集した。結果、32機関から46作品が出品され、審査の結果、受賞作品が決定され、7月28日に表彰式が行われた。一般部門では、16作品(注:うち、1作品が受賞を辞退した。)に内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞を含む賞を授与し、うち新技術振興渡辺記念会理事長賞は「ガリレオX キメラ異質同体生物が救う命」に授与した。また、今回から新たに設けられた学生部門では奨励賞が2作品に授与された。

第67回科学技術映像祭については科学技術映像祭運営委員会における検討の結果、「一般部門」

及び「学生部門」の募集、一般部門の有料制の継続、文部科学大臣賞について第 65 回までの「部門」に該当する同賞にふさわしい4つの観点を明示することとした第 67 回科学技術映像祭開催要綱を1月に決定し、年度当初に行う作品の募集の準備を行った。

IX. 評議員、役員

令和8年3月31日現在

評 議 員	役 員
上 田 新次郎	理 事 長 佐 藤 征 夫
白 井 勲	専務理事 下 田 隆 二
鍵 山 眞由美	理 事 岩 淵 晴 行
島 田 博 文	同 大 井 滋
辻 篤 子	同 太 田 充 代
永 野 博	同 白木澤 佳 子
林 聖 子	同 高 園 武 治
平 澤 洽	同 中 西 友 子
村 野 和 雄	同 水 本 伸 子
森 口 泰 孝	監 事 片 山 泰 祥
	同 坂 田 東 一

令和7年度科学技術調査研究、調査研究助成、援助等に関する一覧

別表-1 科学技術調査研究の実施（自主事業）

交付番号	課題名	内容	実施機関等
R-R7-134	<p>富士山積雪中マイクロ・ナノプラスチックから探る、地球規模汚染と気候変動への新たな視点</p> <p>（令和7年4月16日～令和8年9月30日）</p>	<p>富士山の積雪を主な観測対象とし、大気中マイクロプラスチック（Airborne Microplastics; AMPs）（直径5mm～1μm）に加え、呼吸器系や循環器系を中心とした健康影響が新たな公衆衛生上のリスクとして注目されている大気中ナノプラスチック（Airborne Nanoplastics ; ANPs）（同1μm以下）も対象に、その性状、起源、そして地球規模汚染および気候変動への影響の解明を試みる。富士山頂と富士山麓、日本海側の立山室堂平（自由対流圏）と新潟県松代（豪雪地域）の積雪中AMNPsを比較分析し、地球規模で輸送されるAMNPsの実態を明らかにし、AMNPsが氷晶核として雲に取り込まれた証拠を実証することを目指す。</p>	<p>特定非営利活動法人 富士山測候所を活用する会</p>
R-R7-135	<p>我が国の未来を切り拓く高度人材についての調査研究 — 海外の動向や我が国の過去30年間の施策の評価を踏まえて—</p> <p>（令和7年10月1日～令和8年9月30日）</p>	<p>我が国の科学技術イノベーションの競争力指標（研究開発費、研究論文数、大学院博士学生数、世界競争力ランキングなど）は国際的に相対的な位置づけの低下が顕著になってきている。本調査研究では、高度人材の育成と活躍が上記競争力強化に必須であるとし、1) 高度人材の育成と活躍に関する取組みの海外と我が国との比較検討、2) 我が国の過去30年間の高度人材の育成と活躍に関する施策の評価と検証、3) それを踏まえ今後の施策のあり方についての提言を取りまとめる。</p>	<p>公益社団法人 科学技術国際交流センター</p>

別表-2 科学技術調査研究の助成

交付番号	調査研究課題名	申請者所属機関
S-R7-611	文化的世界観と自然の価値観が気候変動リスク認知に及ぼす影響の解明	横浜国立大学
S-R7-612	研究の多様な社会的インパクト創出プロセスを支える支援・評価のあり方に関する研究	大阪大学
S-R7-613	エコミュージアム技法の移転によるタイ居住文化の保全継承手法の開発と人材育成	芝浦工業大学
S-R7-614	デジタル医療推進に必要な薬局薬剤師の育成に向けたリカレント教育に関する調査研究	星薬科大学
S-R7-615	避難可能なまちづくりを目指したリスクコミュニケーションの手法構築と人材育成	京都大学防災研究所
S-R7-616	メディア・総合知の活用を前提とした新たな科学コミュニケーションに資する調査研究	理化学研究所
S-R7-617	女性エンジニアの現状とこれからのに関する調査研究	(公社)日本工学アカデミー
S-R7-618	CubeSat 衛星に対する技術的規制 (Global Technical Regulation) 案の提案	(一財)日本宇宙フォーラム
S-R7-619	アジア太平洋地区におけるマイクロレデンシナルを用いた科学技術人材育成基盤の構築	(一社)日本オープンオンライン教育推進協議会
S-R7-620	デジタル教科書を活用した自主的・自立的思考育成型教育の推進に関する調査研究	(NPO) シンクタンク日本

(上期10課題)

交付番号	調査研究課題名	申請者所属機関
S-R7-621	飛行ロボットを例としたサイバーフィジカルシステムものづくり国際分業化の調査研究	名古屋大学
S-R7-622	アートを用いた対話型科学コミュニケーション：ポリマー廃棄物問題解決を事例にあげて	東北大学
S-R7-623	医療機器の小型・可搬化が拓く未来 —技術潮流と国際政策の調査—	北海道大学
S-R7-624	構造生物学知識体系化に向けた蛋白質データバンクにおける文献リンク緻密性の調査研究	名古屋大学
S-R7-625	萌芽的科学技術の「横断型 ELSI 評価手法」の構築に向けた調査研究	大阪大学
S-R7-626	子宮移植をめぐる法的ルール確立に向けた研究——チェコの状況と日本への示唆——	佛教大学
S-R7-627	第2次トランプ政権下での商業宇宙活動に対する規制に関する動向調査	(一財)日本宇宙フォーラム

S-R7-628	「地球」と「次世代」を当事者とする工学倫理教育の方法論の構築に関する調査研究	(公社)日本工学アカデミー
S-R7-629	博覧会出展映像(各パビリオン)の追跡及びデジタル化に関する実現可能性調査	(公財)科学技術広報財団
S-R7-630	iPS細胞由来再生医療製品開発に伴うゲノムデータ開示要請とドナー保護のバランス	(公財)京都大学iPS細胞研究財団
S-R7-631	外国ルーツ児童生徒の教育支援におけるICT導入パターンとその特性に関する研究	(公財)全日本科学技術協会

(下期11課題)

別表-3 科学技術国際交流の援助

交付番号	名称	態様	援助対象者
R7-84	2025年ガラス・光材料部門会議(第16回環太平洋セラミクスとガラス技術会議同時開催)(Glass & Optical Materials Division Meeting (GOMD 2025) 16th Pacific Rim Conference on Ceramic and Glass Technology)	海外国際研究集会等への参加	東北大学大学院工学研究科応用物理学専攻 教授 小野 円佳
R7-85	第23回固体センサ・アクチュエータ及びマイクロシステム国際会議(トランスデューサー 2025)(The 23rd International Conference on Solid-State Sensors, Actuators and Microsystems (Transducers 2025))	海外国際研究集会等への参加	東北大学マイクロシステム融合研究開発センター 助教 Andrea Vergara
R7-86	第23回固体センサ・アクチュエータ及びマイクロシステム国際会議(トランスデューサー 2025)(The 23rd International Conference on Solid-State Sensors, Actuators and Microsystems (Transducers 2025))	海外国際研究集会等への参加	早稲田大学理工学術院 基幹理工学部 講師(任期付) 寺嶋 真吾
R7-87	欧州微生物学連合年会 2025 (The FEMS MICRO Milan 2025: Congress & Exhibition)	海外国際研究集会等への参加	東京大学大学院理学系研究科 実験統計物理学研究室 横山 文秋
R7-88	2025年 米国畜産学会-カナダ畜産学会 年次会議 (2025 ASAS-CSAS Annual Meeting)	海外国際研究集会等への参加	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 学術研究員 西野 大地
R7-89	第5回先端応用のための固体電解質に関する世界会議(5th World Conference on Solid Electrolytes for Advanced Applications: Garnets and Beyond)	海外国際研究集会等への参加	東北大学材料科学高等研究所 (AIMR)

ビザ発給が遅れ研究者が渡航できず未実施

R7-90	第20回植物生体膜生物学国際ワークショップ (20th International Workshop on Plant Membrane Biology)	海外国際研究集会等への参加	埼玉大学大学院理工学研究科 生命科学専攻 准教授 井上 晋一郎
R7-91	第20回植物生体膜生物学国際ワークショップ (20th International Workshop on Plant Membrane Biology)	海外国際研究集会等への参加	東北大学大学院生命科学 研究科 助教 林 真妃
R7-92	第21回液晶光科学国際会議 (21st Optics of Liquid Crystals Conference (OLC 2025))	海外国際研究集会等への参加	豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 応用化学・ 生命工学系 准教授 荒川 優樹
R7-93	国際ソフトマター会議 2025 (9th International Soft Matter Conference (ISMC2025))	海外国際研究集会等への参加	東京大学大学院総合文化 研究科 先進科学研究機 構 柳澤実穂研究室 特任助教 柳沢 直也
R7-94	第12回海産外来種に関する国際会議 (The 12th International Conference on Marine Bioinvasions (ICMB XII))	海外国際研究集会等への参加	兵庫県立大学自然・環境 科学研究所 自然環境系 准教授 頼末 武史
R7-95	第19回 国際リハビリテーション医学会 学術集会 (The 19th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM) World Congress)	海外国際研究集会等への参加	順天堂大学医学部附属順 天堂東京江東高齢者医療 センターリハビリテーシ ョン科 係長 作業療法士 阿瀬 寛幸
R7-96	環太平洋国際化学会議 2025 (The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2025 (Pacifichem 2025) )	海外国際研究集会等への参加	京都工芸繊維大学分子化 学系 助教 安井 基博
M-R7-63	第12回アジアシクロデキストリン国際会 議 (12th Asian Cyclodextrin Conference)	国際研究集会等の 開催	同志社大学理工学部 機能分子・生命化学科 教授 北岸 宏亮
M-R7-64	日独先端工学プログラム (Japan- Germany Frontiers of Engineering Program (JAGFOE) )	国際研究集会等の 開催	公益社団法人日本工学ア カデミー 顧問・荣誉フ ェロー (国際委員会 委 員長) 原山 優子
M-R7-65	第一回エレクトライドとフローティング 電子系の材料科学国際シンポジウム (1st International Symposium on Materials Science of Electride and Floating Electron System)	国際研究集会等の 開催	東京科学大学総合研究院 特命教授・荣誉教授 細野 秀雄

I-R7-16	第1回量子コンピューターとセンサーを指向した分子スピン量子ビット国際会議 (1st International Conference on Molecular Spin Qubits Toward Quantum Computer and Sensors (ICMSQ2025))	外国の研究者・技術者招へい	東北大学大学院理学研究科化学専攻 名誉教授・客員研究員 山下 正廣
I-R7-17	代謝コードと細胞恒常性に関する国際ワークショップ (Osaka Mito2025 Summer International Workshop on Metabolite Code and Cell Homeostasis-)	外国の研究者・技術者招へい	東京大学定量生命科学研究所 RNA機能分野 助教 篠田 沙緒里
I-R7-18	日本薬学会第146年会 (大阪) (146th Annual Meeting of the Pharmaceutical Society of Japan (Osaka))	外国の研究者・技術者招へい	公益社団法人日本薬学会 副会頭 日本薬学会第146年会 (大阪) 組織委員長 小比賀 聡

別表-4 科学技術振興のための普及・啓発の推進

交付番号	名称	態様	主催者、表彰者等
W-R7-92	科学技術調査研究助成課題成果報告会 (令和5年度下期他採択課題) 開催日：令和7年4月25日 開催場所：法曹会館	助成課題 成果報告	(一財)新技術振興渡辺記念会
W-R7-93	科学技術調査研究助成課題成果報告会 (令和6年度上期採択課題) 開催日：令和7年10月22日 開催場所：法曹会館	助成課題 成果報告	(一財)新技術振興渡辺記念会
IP-R7-61	「技術経営・イノベーション」推進事業 隔年顕彰として第12回技術経営・イノベーション大賞表彰式が実施された。 開催日：令和7年5月16日 会場：如水会館 (ハイブリッド開催) なお、第13回より環境大臣賞が新設されることとなった。 応募受付：令和8年5月18日～7月31日 結果発表、表彰式はそれぞれ令和9年4月、7月予定。	科学技術 推進事業 協賛	(一社)科学技術と経済の会
IP-R7-62 ～63	第50回井上春成賞 研究奨励金贈呈 (2件) 開催日：令和7年7月14日 会場：日本工業倶楽部	研究者 表彰後援	井上春成賞委員会 研究者 馬場 健史 (九州大学 生体防御医学研究所 主幹教授) 出口 茂 (海洋研究開発機構 海洋機能利用部門 生命理工学センター長)

IP-R7-64	<p>第 66 回科学技術映像祭  表彰式：令和 7 年 7 月 28 日  会 場：科学技術館 サイエンスホール  一般部門 16 作品（注：うち、1 作品が受賞辞退）、学生部門 2 作品が入選。  新技術振興渡辺記念会 理事長賞は、一般部門/長編「ガリレオ X キメラ 異質同体生物が救う命」に授与。</p>	<p>科学技術  推進事業  主催</p>	<p>(公財)日本科学技術振興財団  (公社)映像文化製作者連盟  (公財)つくば科学万博記念財団  (一財)新技術振興渡辺記念会</p>
IP-R7-65	<p>第 11 回女性技術者育成功労賞表彰  開催日 令和 7 年 11 月 19 日  開催場所 如水会館</p> <p>個人優秀賞 17 件  個人奨励賞 20 件  組織優秀賞 6 件  組織奨励賞 6 件</p>	<p>科学技術  推進事業  協賛</p>	<p>(一社) 技術同友会</p>